



HIGH-DAN

HIGH-DAN_サマーエール資料



夏の大会に向けて全力で駆け抜ける高校ダンス部の皆さんへ —
ハイダンからの特別エール資料





WHAT IS HIGH-DAN

▶ハイダンとは？

HIGH SCHOOL DANCE COMPETITIONは、
2015年よりスタートし、全国の高等学校および高等学校に準じる
教育機関に在学中の学生を対象としたダンスコンテスト。

▶カテゴリー

カテゴリーは2つ。

2名～12名で構成された**SMALL部門**

9名～40名で構成された**LARGE部門**

▶大会規模

予選はTOHOKU / EAST / CHUBU / WEST / KYUSHU の全国5地区で開催。

勝ち上がったFINALISTが4月の**両国国技館**にて日本一を争う。

<https://high-dan.com/>

シーズン予選
開催数
10回

シーズン動員数
約20,000人

ハイダンの4つの特徴



1.開催時期



予選大会を11月~2月、
決勝大会を4月に開催。
他コンテストとの被りもなく
新体制でも出やすい期間設定

2.予選大会の複数開催



ステージ(人前)で踊るチャンスが
多く、また多く出場することで
決勝大会進出により近づく仕組み。

3.審査シートの返却



審査員から作品の
フィードバックをもらえる機会。
また、複数回予選に参加することで
作品をより磨くことができる。

4.フェス型の決勝



高校生が10,000人集まるダンスフェス
メインステージとサブステージの
4つのステージで全国の高校ダンス部
がパフォーマンスを披露する。

ハイダンは高校ダンス部の皆さんが「新体制」になった後
ダンスをより楽しく、深く探求できるきっかけを提供する
最初の大会を目指しております。



The poster features a dark background with a large, stylized white 'H' logo at the top center. Below the logo, the text 'HIGH-DAN 2026' is written in a bold, white, sans-serif font. The poster is divided into several sections, each representing a different tournament region. Each section includes a stylized logo for the region, the name of the region, and the dates and times for the three volumes of the tournament. The regions listed are EAST, WEST, CHUBU, TOHOKU, KYUSHU, and FINAL. The dates and times are listed in a smaller, white, sans-serif font.

HIGH-DAN 2026

EAST
vol.1 : 11/9 sun vol.3 : 2/11 wed
vol.2 : 1/24 sat vol.3.5 : 2/15 sun

WEST
vol.1 : 12/7 sun vol.3 : 2/23 mon
vol.2 : 1/10 sat

CHUBU
1/31 sat

TOHOKU
1/17 sat

KYUSHU
1/12 mon

FINAL
4/18 sat

●EAST

vol.1: 11/9(日) @正和工業にじいろホール(春日部市民文化会館)

vol.2: 1/24(土) @大宮ソニックシティ大ホール

vol.3: 2/11(水) @市原市市民会館

vol.3.5: 2/15(日) @市原市市民会館

●WEST

vol.1: 12/7(日) @南海浪切ホール

vol.2: 1/10(土) @パープルホール(藤井寺市立市民総合会館本館)

vol.3: 2/23(月) @東大阪市文化創造館

●CHUBU

vol.1: vol.1: 1/31(土) @知多市勤労文化会館

●KYUSHU

vol.1: 1/12(月) @福岡市民ホール・中ホール

●TOHOKU

vol.1: 1/17(土) @楽楽楽ホール 太白区文化センター

決勝大会 GALLERY



決勝大会 GALLERY





予選大会 / GALLERY

W. マイナビ
HIGH DANCE
2025



W. マイナビ
HIGH DANCE
2025



※こちらは昨シーズンのルールとなります。
一部変動の可能性もありますため、何卒ご了承ください（後日詳細公開）。



▶参加人数に関して

SMALL部門:2名~12名で構成

LARGE部門:9名~40名で構成

※9-12人のチームは出場部門を選択可能



▶決勝大会進出条件に関して

全地区より各部門合計約20チームが決勝大会に進出可能！

各予選1位or2位を獲得、もしくはポイントランキング上位チームに選出されること

※5位までに入賞したチームにポイントが与えられます



▶制限時間に関して

2分30秒以内

※上記は原則として、パフォーマンスの分数になります。音源の分数ではありません



▶審査方法に関して

審査員1人1人が、1項目に関しての審査を行います。

「スキル」「クリエイション」「コレオグラフ」「ビジュアル」「完成度」

※ステージでどう表現され作品へ活かされているかが審査のポイントとなります

予選
3回

WEST



TOHOKU

予選
1回



予選
4回

EAST



年間をかけて
全国の予選を勝ち抜いた
FINALISTが
4月の決勝大会に集結

予選
1回



予選
1回

CHUBU



KYUSHU

参加可能エリアについて



■ TOHOKU

北海道、青森、岩手、秋田、宮城、山形、福島

■ EAST

東京、神奈川、千葉、埼玉、茨城、栃木、群馬、山梨、北海道、青森、岩手、秋田、宮城、山形、福島

■ CHUBU

愛知、岐阜、静岡、三重、新潟、長野、富山、石川、福井

■ WEST

大阪、兵庫、京都、滋賀、奈良、和歌山、鳥取、島根、岡山、広島、山口、徳島、香川、愛媛、高知、愛知、岐阜、静岡、三重、新潟、長野、富山、石川、福井、福岡、長崎、熊本、大分、佐賀、宮崎、鹿児島、沖縄

■ KYUSHU

福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、山口、沖縄

※東北地区の学校は東北予選に加えて、関東予選に参加が可能
※中部地区・九州地区の学校は各地区の予選に加えて、関西予選に参加が可能

審査シートに関して

ハイダンでは5項目に分かれて審査員が1人1項目を採点する

【項目別審査制】を採用しております。

予選出場後には各チームに審査員全員より、審査シートを返却いたします。

項目ごとの審査におけるコメントがいただけるため、自身のチームの【**強み・弱み**】がわかります。

スキル

各チームのダンサー、一人一人の技や動きのリズム感、基礎力、それらの難易度・完成度を指す。ダンスの最も重要な要素であるリズム感、そして各ジャンルにおいて多数存在する基礎となるあらゆる伝統的な動きなどをどの難易度と完成度で音楽に調和させて駆使できているかを総合的に判断、評価する。

クリエイション

各チーム各ダンサー独自の技や一つ一つの動き、または作品としての革新性、独創性の事を指す。ダンスの世界における伝統的なムーヴやステップに対しての新たな見せ方や音楽のアプローチの仕方、演出方法等、様々な視点においての斬新さを評価する。

コレオグラフ

チームごとに用意した楽曲に対する振付、構成、演出の事を指す。楽曲を最大限に活かした振付、人数を駆使したシンクロ度やフォーメーション、チーム独自の世界観創出、主にそれらの観点から振付力の優劣をつける。また前述した要素が必須ではなく、あくまでそれらを駆使し総合的にショーの質そのものを高めた振付が出来たかを評価する。

ビジュアル

各チームの音楽やダンスパフォーマンスの為に用意したユニフォーム、衣装を中心とした演出全般の事である。派手さや単なる統一性、トレンド性のみを競うものではなく、あくまで総合的にダンスパフォーマンスとマッチング及び、世界観が創出されているかを評価する。また、ファッション・衣装についての規約に違反していないかも問われる。

完成度

一つのショー全体を通して見た時の飽きさせない力量を指す。一作品トータルの流れとして改良の手を加える余地の少なさなどの完成度で評価する。

審査シートに関して

マイナビHIGH SCHOOL DANCE COMPETITION 2025 LARGE

	スキル	
--	-----	--

4	学校名	チーム名	順位
---	-----	------	----

こちらに、決して書き写るものではありません。ぜひともダンスの向上にお役立てください。

※コメント

パフォーマンスに対する審査員からのコメント

マイナビHIGH SCHOOL DANCE COMPETITION 2025

WEBはこちら

【 TOHOKU 】
1/25(土) 盛岡市市民交流センター 盛岡ホール (宮城県盛岡市本町1-1 10番館5階)

【 EAST 】
11/16(土) 春日部市民文化会館 (埼玉県春日部市粕壁東2丁目8-61)
12/8(日) 大宮ソニックシティ (埼玉県さいたま市大宮区桜木町1丁目7-6)
2/11(火) 春日部市民文化会館 (埼玉県春日部市粕壁東2丁目8-61)
2/16(日) 大宮ソニックシティ (埼玉県さいたま市大宮区桜木町1丁目7-6)

【 CHUBU 】
12/21(土) 豊川市文化会館 (愛知県豊川市代田町1丁目20-4)

【 WEST 】
11/4(月) 南海波切ホール (大阪府岸和田市港線町1-1)
1/18(土) 南海波切ホール (大阪府岸和田市港線町1-1)
2/1(土) パールホール (大阪府藤井寺市北岡1丁目8-3)
2/2(日) パールホール (大阪府藤井寺市北岡1丁目2-3)

【 KYUSHU 】
1/13(月) 伊都文化会館 (〒819-1119 福岡県糸島市前原東2丁目2-7)

【 FINAL 】
4/19(土) 両国国技館 (〒130-0015 東京都墨田区横綱1丁目3-28)

審査員が直接記入
した用紙をデータで
お渡し



公式SNSで審査員
からの総評も公開中！

2025シーズン、審査員コメント動画より一部抜粋してご紹介！

ハイダン独自の審査員による、項目別コメントをお届けします。

日々の部活動や作品づくりに、ぜひご活用ください。

皆さまが素晴らしいステージで輝けますよう、心よりお祈り申し上げます。

【スキル】

・ちっひー(EAST vol.1)

顔に表情があるように体にも手の動き、一個にも表情があると思うので、そういう面を意識してやっていたら、もっと伝わっていくと思います。

・KON THE FUNK(EAST vol.2)

一個一個の動きをつなぎとして使うんじゃなくてそこにも意味が生まれてくるようにどんどんストーリーをつないで踊ると良いと思います

・KATSUYA(EAST vol.3)

形とかシルエットをすごいしっかり合わせるみたいな作ってくるチームっていうのは揃えるっていうのはめっちゃ素晴らしいと思うんだけど、シンプルなダンス面っていう例えばリズムの取り方だったりとかノリ感っていうのがちょっと消えてるチームがいたりしました

・MACCHO(WEST vol.1)

基礎力を高めてもらって基礎力を高めた上で難易度をどんどんパートやから上げれる少ない人数やったら上げれる全体やったらこの雰囲気このパワー感とかそういう部分でいろいろ試行錯誤をやってもらうともっとより良くなると思います

・TA-MA- (WEST vol.3)

スキルが高くなるとできることが増えて詰め込めるところがいくつかあったが、スキルを持っているからこそ、シンプルに見せたいことを尖らせて見せることもコンテストだったら大事

【クリエイション】

・FOOL(EAST vol.2)

足し算はうまいんだけど、引き算ができてないチームが多い印象でした。

また、音の表層を表現しているというかもうちよいろいろなアプローチを覚えてくると全体の芸、作品のディティールが変わってくると思います

・tomoyo(WEST vol.1)

何か一個を貫いて見せきってたりしてる学校とかは結構届きやすかったと思いました。だからすごい良くてパワフルで伝わってきているけれども全然違う形に作品の中で展開されていったりとかするのがよく見える時もあればもったいなく見える時もありました

・Amichoke(WEST vol.2)

強く自信を持てる部分が際立っていけるように作り込んでいけると自然とついてくるチームワーク力や自信も見えてくるのももう少し良くなる場所があったのかなとは思いました

・SASA(CHUBU)

僕の中ではそんなことやらないだろバカだろって思うようなことでも、それをしっかりやれば、他のチームと違って一つ加点につながったりします

【コレオグラフ】

・WREIKO(EAST vol.2)

1人でも2人でも3人でも自分という個性を絶対になくさないように踊れるようなダンサーになってほしい。

また、曲がどんな曲かを一人一人しっかりと理解をする。作品自体もどんなものを伝えたいのかというのを一つも濁さないで、自分自身でどこまでも理解できるように落とし込んでいくことが大切です。

・TATSUKI(EAST vol.3)

最初の10秒と、あとは曲の変わり目、展開の変わり目、あとはラストの20秒ぐらいをすごく大事にしています。

また、移動が移動にならないように移動が魅せれるようになったら完全に隙がない状態で見せ切れれると思います。

・SEIYA(EAST vol.3.5)

振り付けだけを頑張ってもダメだし構成だけを頑張ってもダメだしその振り付けに対するエネルギー量だったり構成がどこまでクリアに見せられているかなみたいなところが細かく自分は見つつもっています

・AYAKA ASADA(WEST vol.2)

本当にこれで合ってるのか、本当にこれでいいのか、もっとできることがないのかっていう風に自分にもっと矢印を向けて、それを一緒にステージに立つ仲間と共有してたくさん楽しんでいっぱい練習したら多分、一体感も生まれるし絆も生まれると思います。

・moe(TOHOKU)

キャッチーな振り付けをしていればいいとか、どんなに上手くてもずっとそれが続いても見る側がつまらなくなります。

私が大事にしていることの一つで、音楽を聴くときと一緒にイントロがあってサビがあって落ちサビがあってここで絶対湧いてここで下がってみたいな作品全体の環境をどう作るかという企みをもっとチーム内で話し合ってみるといいと思います。

【ビジュアル】

・momopeach(EAST vol.3)

ダンスのスタイルだったり、動きがしっかり見える素材感だったり、サイズ感だったりっていうのも気にして見ていました。

ネクタイが動いちゃうことによって揃ってなく見えちゃうチームとか、ハットがあることによってこの角度が若干ずれているのがバレちゃうチームだったり、マイナスに働く面もあるんだなっていうのを自分たちでしっかり理解してダンスに昇華できるとさらにいいものが見せれるのかなと思います。

・REIKO(WEST vol.1)

自分たちの良さを視覚的要素で伝える前にジャッジの人たちに伝えるってとても大切なことだと思います。

・MEME(WEST vol.3 SMALL)

全部の動きに対して、一つ一つに意味があるように、この衣装はこういう。

曲のモチーフがあるからこういう服を選んだりとか、この動きが入るからこの衣装にしてみようとちょっとでも意味があれば伝わるものはもっと伝わりやすくなるしっていうように感じました。

・AIKA BAMBAM(TOHOKU)

インナーを見せたい踊りだったらピタッとした服を着るとか、表情を見せたかったら帽子をかぶらないとか結構ビジュアルもダンスにとってすごく大事

【完成度】

・LEE(WEST vol.2)

いつもの練習ならばすごくもっとクリアにできてた部分が本番になるとかんでしまってエネルギーが違うところに分散してしまったりすると思います。そういう意味でも練習を120%出し切るのは、パワーだけではなくてどう表現するかっていうところにパーセンテージを持っていかないと本番には出てこないと思う

・LEE(WEST vol.3 LARGE)

揃えるばっかりにやっぱり重きを置いてしまうとやっぱりその揃えた部分しか見えなくなっちゃうから一人一人の個性であったりも一つの完成度に向けてのプラスアルファの評価になります。

・MEDUSA(EAST vol.2)

無音が無駄になっているところがあったのでその無音を使うならこそその無音の使い方の研究がすごい大事だと感じました。無音が余って感じるのか無音を活かして踊れているのかこの違いだと思う

・MEDUSA (EAST vol.3.5)

日本語だからこそより歌詞の意味が伝わってくるので1つ自分たちの中で噛み砕いて心情を踏まえてやるといいと思います。無理に笑顔を出したり、口を開ければいいっていうものではないと思う。口だけ開けてるだけでは違いが本当に見えるので、しっかり自分たちの中で感情を噛み砕いて表情として出せるようにっていう練習も必要

・Shota (KYUSHU)

動きだったり構成にとらわれすぎてダンスじゃなくて動きみたいに見えるところもあったので、心から気持ちを出すダンスというのを全員が同じ熱量で持ってやるともっと作品の完成度も上がってくるんじゃないかなと思います

ハイダンでは予選会場内で様々な企画を実施しております！！

コンテスト本編で全力を尽くすのはもちろん、
ぜひ、他校のダンス部の皆さまとの交流も楽しんでいただければと思います。
この出会いが、皆さんのダンス人生をさらに豊かにするきっかけとなりますように。



※次ページから昨シーズン実施の企画を紹介させていただきます。
今シーズンもブラッシュアップし、様々な企画で皆様をお迎えします！

交流企画

ネームプレート企画

このネームプレートを探して、声をかけてみよう！
何かが始まるかも、、、？！

ギャグを
お願いしてみて！



ギャグをお願いしてみよう！



話しかけてみよう！



自慢のムーブを見てみよう！



凄腕ダンサーを教えてください！

笑顔の
勝負だ



スマイルをお願いしよう！

写真を
申し込んでみ
よう！



チェキを申し込もう！

ダンス
バトル
勃発？！



ダンスバトルを申し込もう！

勝って
プレートを集
めろ！



ジャンケンをして、
勝ったらプレートはあなたのもの！



ボスはボスに話しかけよう！



ハートの相方を探してみよう！

♡を完成
させよう



ハートの相方を探してみよう！

交流企画

ネームプレート企画

パフォーマンス終了後に、フォトブースに集合！

全員集合！！



体験型企画

トライアルスタッフ企画

出演高校の部員やOBOGがスタッフとしてご参加。

MCやカメラマンなど出場者を裏側からサポート！

MC



PHOTOGRAPGER

OFFICIAL GOODS

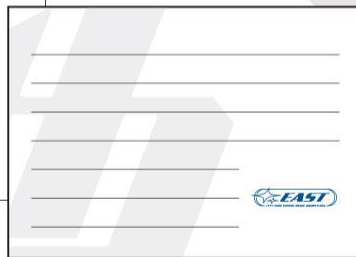
※25シーズンのグッズとなります



フェイスタオル
¥2,500



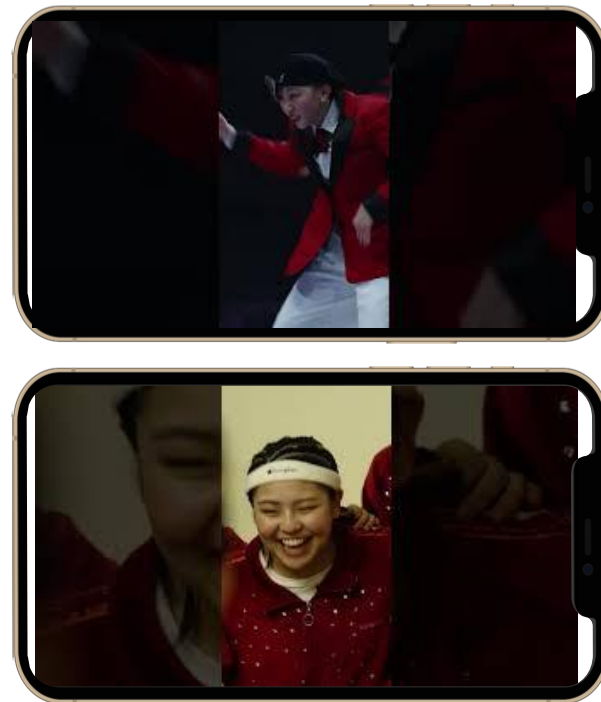
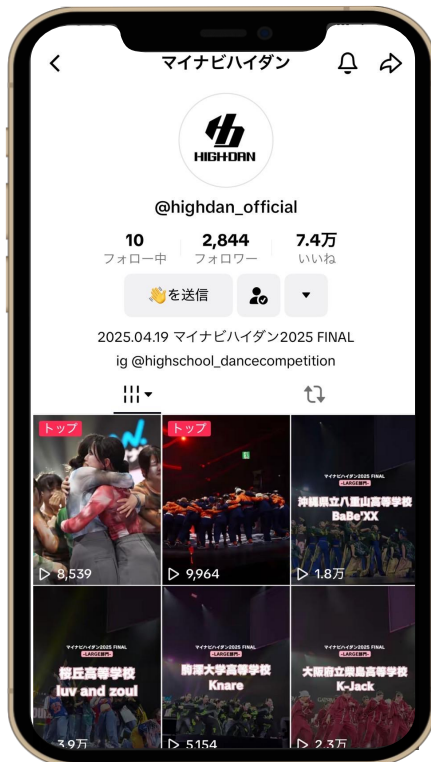
メッセージカード
¥200



うちわ
¥500



ハイダンくじ
¥200



▶webサイト

<https://high-dan.com/>

<https://high-dan.com/highdanfinal2025/>